

地元高校紹介

「稚内大谷高等学校」

稚内市内の高等学校を紹介しているこのコーナー、第2回目の今月は「稚内大谷高等学校」の様子や取り組みなどを紹介します。

校舎に入ると、元気で、礼儀正しい生徒たちの爽やかなあいさつが響く。「稚内大谷高等学校」。昭和38年に設立され、建学の精神のもと、報恩感謝、和顔愛語、自己反省、学行一体の4つの校訓を掲げる同校は、いのちの尊さや、人との関わりを通じて「人間力」を培う教育活動を行っており、それぞれに目標をもった生徒たちが日々学んでいます。

生徒の可能性を伸ばす

より早い段階から自分の進路を見つけ、効果的に学べるよう、来年度入学の1年生から新しいクラス編成となります。進学を意識した「アドバンスクラス」と従来のクラスと同じ「グローバルクラス」に分かれる学習方法により、授業内容や進度に変化をつけ、学習効果を高めることをねらいとしています。また、2年生からは、大学や医療系進学希望者に対応する「特別進学コース」と専門学校や大学推薦、就職希望者などに



対応する「未来創生コース」が選択可能なほか、さらに細分化された選択授業も用意されるなど進路選択の幅を広げ、生徒の持つ可能性を最大限に伸ばすことに学校全体で取り組んでいます。

次代を担う若者に

この秋から導入されたICT(情報通信技術)教育では、専用の教室を設け、電子黒板型プロジェクトや生徒一人一台のタブレット端末が用意されるなど、



ICTを使った授業

機器やデジタルコンテンツを有効活用した授業が行われています。新時代を生き抜く若者には不可欠な能力となるこのICT。この授業により、学習の楽しさが増すことはもちろん、情報活用能力の育成につながるものと期待しています。

地域で活躍する人材を

地域産業と連携した資格取得に向けて、従来の第2種電気工事士に加え、土木施工管理技師資格取得に向けた授業が選択できるようになります。これらの資格は、地域から熱望されている資格であり、取得した生徒が地元企業に就職し、即戦力となることを目指しています。このほか、介護職員初任者研修、公務員・情報処理・危険物講座や、簿記検定、英検、漢検などの資格取得に向けても取り組んでいます。

今回、2年生で選択できる電気基礎技術の授業において、邪魔してききました。教壇に立っているのはなんと、現場経験の豊富な、地元企業に勤めていた方。外部講師として、現場で役立つ方法なども交えながら専門知識を指導しています。教室には地元企業から寄贈されたという、実技に使用する電

線やスイッチなどの電材も多数。そのような環境の中で生徒たちは資格取得を目指し、勉学に励んでいます。



電気基礎技術の授業の様子

この授業を選択している千葉さん(2年)は、「電気工事士資格にチャレンジしたい」と思い選択しました。将来の自分にとって役に立つものだと思います。講師の方が、現場で活きる手法なども教えてくれるので本当にわかりやすいです」と話してくれました。現在の2年生が3年生になると「土木施工基礎技術」も選択できます。これも地元企業の方が講師となる予定で、地域の方の協力もあり、将来、地元で活躍する人材の育成に力が入っています。

クラブ活動にも力を

現在、強化クラブとして野球、サッカー、バレー、バスケット、バドミントン、吹奏楽の6つがそれぞれ

れ全道大会に出場するなど成果を挙げており、さらに全国大会を目指し日々練習に打ち込んでいます。また、4年生大学への現役合格を目指す「大谷塾」という進学クラブもあります。外部講師や、教員による個別指導、放課後と休日の講習で基礎から着実に底上げするというこのクラブで、納得するまで学習に打ち込むことができます。高校を選択する際に、中学校の先生から「大谷塾のことを聞き、この高校を選んだ」という大塚さん(2年)は、「大谷塾では、普段の授業よりも難しいレベルの勉強に集中的に取り組めます。稚内大谷高校は就職だけではなく、大学進学を目指したハイレベルな授業を受けられることをもっと知ってほしいです」と話していました。

越後屋教頭は「本校はまちづくりという観点に立ち、地元で力になれる生徒を輩出したいという思いで教育活動に取り組んでいます。資格取得、勉強、運動など目的は違っても一つの学び舎で同じ方向を向いて頑張ることが稚内大谷高校の教育のコンセプトです。これからも支援をお願いします」とメッセージを送っていました。

人と地球にやさしいまちわっかないを目指して ~最終回~

「より良い環境を目指して市民一人ひとりが参加し行動するまち」

第2次稚内市環境基本計画では、5つの基本目標を掲げています。今月は基本目標「より良い環境を目指して市民一人ひとりが参加し行動するまち」に向けた取り組みの紹介です。

これまで4つの基本目標の取り組みについて紹介してきましたが、すべての取り組みは市、市民、事業者が互いに連携、協力しながら進めなければなりません。

私たち一人ひとりは、環境に関する正しい知識と保全の意識をもち、地域の清掃活動や資源ごみの集団回収等の美化活動や、植樹などの環境保全活動への積極的な参加、また、物を大切に使う、エネルギーの節約、エコドライブの実施やマイバッグを持参するなど、日々の生活における環境にやさしいライフスタイルを実践していくことが必要です。このため、最後の基本目標を共通目標「より良い環境を目指して市民一人ひとりが参加し行動するまち」として、次に掲げる施策に取り組めます。

【より良い環境をめざし、以下のようなご協力を！】

- 環境学習や環境保全活動へ参加、協力し環境に関する意識を高める
- 環境問題に対する知識を深め、家庭や学校など身近なところではじめられることから実践し、自ら活動の主体となる

※皆さん一人ひとりの取り組みが積み重なり環境問題の解決につながります。環境に配慮した消費生活の実践にご協力ください！

問い合わせ／市環境エネルギー課環境政策グループ
☎ 23 - 6386